

(様式第3号)

企業・団体名(上田ガス株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・性別、年齢、障がい、国籍、出身などに関する差別的な言動の未然防止について朝礼や管理職会議で徹底を図っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・セクシュアルハラスメント、マタニティハラスメント、パワーハラスメントの禁止、防止、対策について就業規則に定めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・社員の残業時間や休日出勤時間を管理して、長時間労働の防止に取り組んでいる。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		・外国人労働者はいないため、非該当。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・安全衛生環境委員会を毎月開催し、労働環境の整備に取り組んでいる。 ・定期的に工事現場の安全パトロールを実施し、現場の安全確認と安全啓発を実施している。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・関係法令に則り年1回のストレスチェックの実施、必要に応じて産業医による面接指導の実施など、社員のメンタルヘルスの良好な維持の対策に取り組んでいる。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・育児休業規程、介護休業規程、時間休制度等により働きやすい環境整備に取り組んでいる。 ・60歳定年以降の再雇用を実施している。 ・女性管理職を登用している。 ・障がい者を雇用している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・職務内容や経験に応じて、研修会や講習会へ参加させている。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・関係法令に則り、原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上に取り組んでいる	チャレンジ			・社員の健康診断の受診状況を把握している。 ・保健指導、健康講話等を適宜実施している。 ・朝のラジオ体操を実施している。			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・産業廃棄物のマニフェスト交付、事業系一般廃棄物の分別など、適切な処理に取り組んでいる。										11.6	12.4		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・算定ツールを利用して自社の温室効果ガス排出量を把握している。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・夏の電気使用量の削減(2010年比で▲15%)に取り組んでいる。 ・クールビズ、昼休みの消灯を実施している。 ・本社社屋屋上に太陽光パネルを設置し、太陽光で発電した電気を利用している。 ・長野県家庭の省エネサポート事業者に登録している。							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・天然ガス卸元の安全データシートにより適切な取り扱いをしている(法令等で規制されている有害化学物質は含まれていない)。			3.9			6.3				11.6	12.4						
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境負荷が少ない天然ガスの供給、高効率機器の普及促進、廃棄物の適正な処理により、生物多様性保全に配慮している。						6.6									15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・掘削土の削減、ガスマーターの再利用、廃棄物の分別及び再資源化等により資源の循環に取り組んでいる。 ・環境に配慮したコピー用紙、詰め替え可能な文具を利用している。											12.5	14.1					

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・朝礼、掲示等を通じて節水意識の向上を図っている。						6.4 6.6													
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・2003年6月にISO14001を取得、2015年10月からはISO14001に替えて独自の環境方針を定め、環境保全に取り組んでいる。			3.9			6	7				12	13.3	14	15					
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・環境方針を定め、ホームページで開示している。											12.6								
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・本社は屋屋上に太陽光パネルを設置し、太陽光で発電した電気を利用している。 ・太陽光発電設備の販売を行っている。							7.2					13							
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・天然ガスを供給している。 ・省エネガス機器の導入促進、効率的なエネルギーシステムの提供に取り組んでいる。											12.2	13	14	15					
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職、贈収賄の禁止について就業規則に定めている。																	16 16.5		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・情報の保護について就業規則、情報管理規程及び情報機器管理規程に定めている。																	16		
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・知的財産の保護について就業規則に定めている。								8.2 8.3	9										
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・「お客さま個人情報の取扱いについて」を定めて公表し、体制を整備している。 ・お客様個人情報を扱う部署に対し、情報管理ルールを周知徹底している。																	16		
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・取り扱っていない。																	16		
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・SDGs達成に向けた取組をサプライヤーや事業パートナーに発信し、認識を共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。			3						8	9	10							17	
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・お客様が安全にガス機器等をご使用いただけるよう、担当者への教育を継続的に実施している。 ・あらゆる業務機会を捉え、安全なガス機器等の使用についての周知を行っている。 ・担当部署や専門の委員会で安全性確保のための評価を定期的に変更している。 ・緊急時に備え、24時間の保安体制を構築している。			3.9									12.4							
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・お客様対応やサービス向上のためのミーティングを部、課、係毎に実施している。 ・地区担当者制度により、きめ細かいサービスを第一とするとともに、即日対応を基本としている。										9									
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・省エネガス機器の導入促進、効率的なエネルギーシステムの提供に取り組んでいる。						6						12	13	14	15				
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・自然環境負荷の低減、住宅環境の向上等の社会課題について、サービスの展開に取り組んでいる。 ・長野県ヒートショック啓発推進委員会に参画している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
33	地域貢献 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地区担当者制度によりお客様との対話を大切にし、展示会や料理教室等のイベントを通じてお客様の意見を伺い、事業の地域への影響の把握を行うとともに改善に努めている。 ・安全かつ安定的にガスを供給するため、老朽化したガス管の入れ替えや供給設備の改善等に努めている。				4									9		11	12			14	15			17
34		チャレンジ			・地域安全サポート事業への参画、献血等を行っている。 ・市の防災訓練に参画している。				4												11				14	15		17
35		チャレンジ				・本社社屋屋上に太陽光パネルを設置し、太陽光により発電した電気を利用している。													8	9		11	12	13				
36	組織体制 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本			・「正しく、早く、安く」を社是とし、社員全員が共有している。 ・お客様が安心して豊かで快適な生活ができるように、との理念を共有している。													8	9								17	
37		基本			・法令遵守について、法令遵守規程を定めるとともに、朝礼や教育時等における指示及びその徹底を図っている。																						16	
38		基本				・組織は総務部、営業部、工務部に分かれており、各部において社会・環境に及ぼす事例があった際には速やかに報告をするとともに主として総務部が対応している。																					16	
39		基本				・お客様をはじめ、市や商工会議所等の地域ステークホルダーとのコミュニケーションにより、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																					16	17
40		チャレンジ				・ガスの供給段階及び消費段階におけるリスクに対し、専門の委員会や管理職会議等でそのリスクの特定、評価を定期的実施している。																						16
41		チャレンジ				・環境に優しい天然ガスの普及促進及び安定供給に取り組んでいる。 ・地域社会への貢献活動、事業活動による環境負荷の低減に取り組んでいる。																						16
42		チャレンジ				・災害発生時の対応方法を定め、定期的に災害時対応の教育や訓練を実施している。 ・非常用発電設備を設置、非常食を常備している。														9		11		13	13.1			16
43	チャレンジ				・継続的な人材採用、教育及び育成を行っている。													8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定